

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月25日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年9月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機原子炉格納容器内温度計指示値のハンチング※発生について】 免震重要棟で「2号機PCV温度高(一括)」警報が発生。 確認したところ、実施計画Ⅲ章18条における2号機の原子炉格納容器内温度の監視に使用している温度計9台のうち、1台の指示値がハンチングしていることを当社社員が確認。 他の温度計指示値、プラントパラメータは有意な変動がないことより、当該温度計単体の不具合と判断。 当該温度計のケーブル被覆に劣化している部分が確認されたことからテープで養生を行ったところ、ハンチングが解消し、温度計の指示値が変動前と同等の値に復帰したことを確認。 当該温度計のケーブル被覆に劣化が見られること、端子台が隣接する別の温度計の点検(直流抵抗値測定)作業後にハンチングが発生していることから、当該温度計ケーブルに変化が加わり指示値がハンチングしたものと推定。 今後、端子台近傍のケーブル修理、整線を予定。</p> <p>※指示値が瞬時に不安定に振れる状態</p>	GⅢ	9月17日
2	<p>【使用済燃料共用プール制御盤の「FPC熱交換器(B)出口導電率高」警報の不点灯について】 使用済燃料プール冷却浄化系(FPC)熱交換器(B)出口導電率計の指示値が警報設定値を超えているにも拘わらず、使用済燃料共用プールの制御盤において、「FPC熱交換器(B)出口導電率高」警報が点灯していないことを確認。 不具合箇所特定のため、現場調査および、点検をする。</p>	GⅢ	9月22日
3	<p>【G4南タンクエリアのタンク基礎設置他工事における体調不良の発生について】 G4南タンクエリアの内堰コンクリート打設作業を行っていた作業員が、休憩所に向かうため立ち上がった際に立ち眩みがしたため、救急医療室を受診。 医師により熱中症との診断を受け、処置後帰宅。</p>	GⅢ	9月18日
4	<p>【5、6号機サービス建屋外壁ボーリング作業時の電線管およびケーブル切断について】 協力企業作業員が、5、6号機サービス建屋外壁ボーリング作業実施時、外壁に埋設されているサービス建屋3階系統用自動火災報知設備ケーブル用電線管およびケーブルを切断し、5、6号機中央制御室に「5、6号機サービスビル断線」警報が発生。 原因は、当該作業実施前、鉄筋探査機にて調査を実施し埋設物の有無は確認していたが、補強鉄筋のため切断しても問題ないと判断しボーリングを実施したためと推定。 火災警報は、同仕様ケーブルにて仮復旧済み、今後新規ケーブルにて復旧作業を実施予定。</p>	GⅢ	9月23日